



2020年3月期
第2四半期 決算補足説明資料

2019年11月14日

株式会社 ライドオンエクスプレスホールディングス
(証券コード：6082)

連結業績推移 – 第2四半期累計

20.3期 2Q累計業績

既存事業好調により売上増加。売上増での生産性向上により増益。

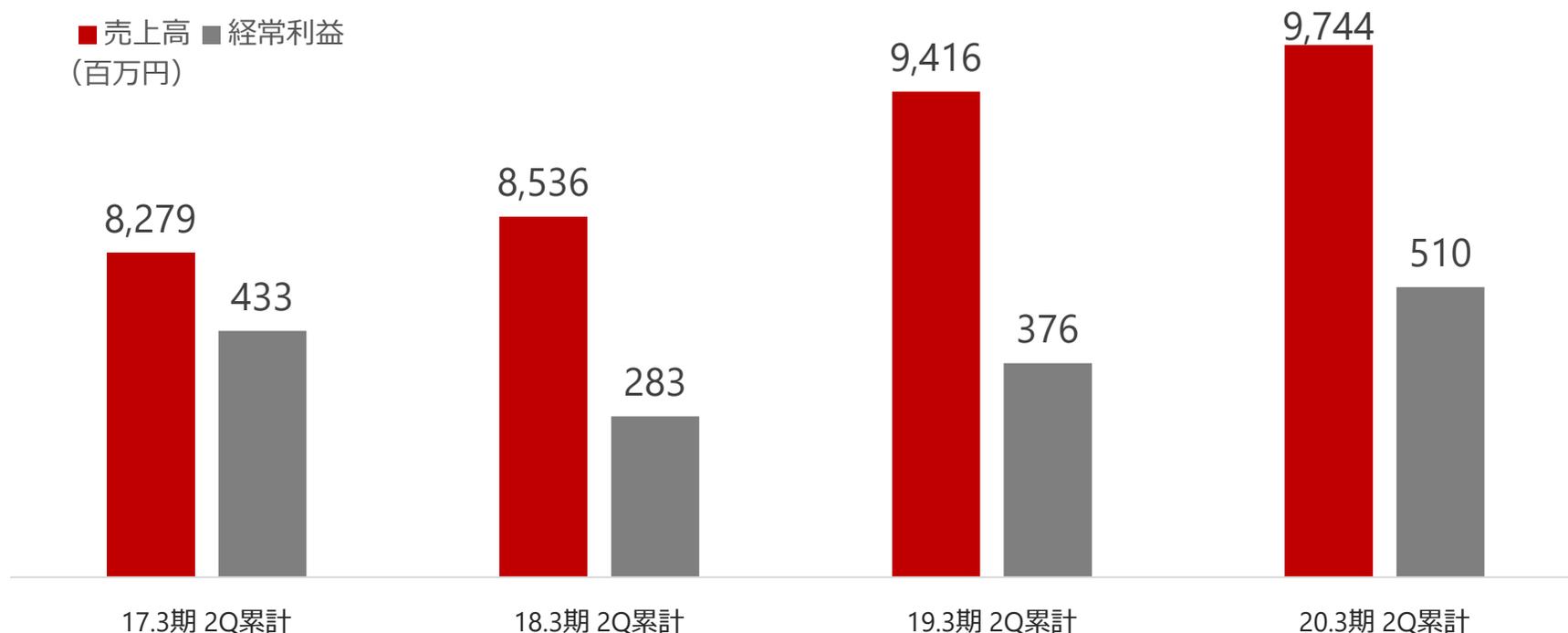
<売上高> 前期比+328百万円、増減率+3.5%

- GW長期化による特需、配達品質の向上、WEB主体のマーケティング戦略、メニュー改定等により、「銀のさら」売上が好調に推移。

<経常利益> 前期比+133百万円、増減率+35.5%

- 売上高増加により増益となるものの、前期に発生した有価証券売却益との差異等により、増減率+35.5%となった。

■ 売上高 ■ 経常利益
(百万円)



連結業績推移 – 第2四半期

20.3期 2Q業績

各種戦略が奏功し増収。有価証券の営業外損益の増減により減益。

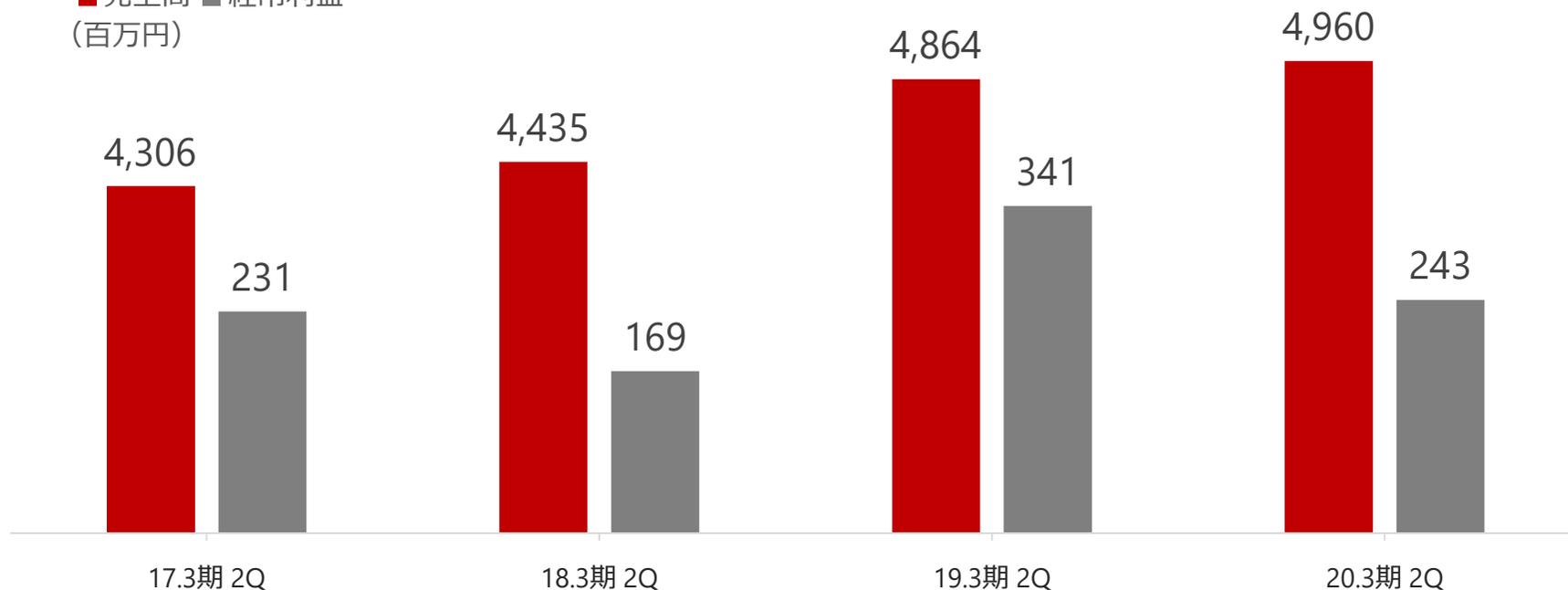
<売上高> 前期比+95百万円、増減率+2.0%

- 配達品質の向上、WEB主体のマーケティング戦略、メニュー改定等により、基盤事業である「銀のさら」売上が好調に推移。

<経常利益> 前期比△97百万円、増減率△28.6%

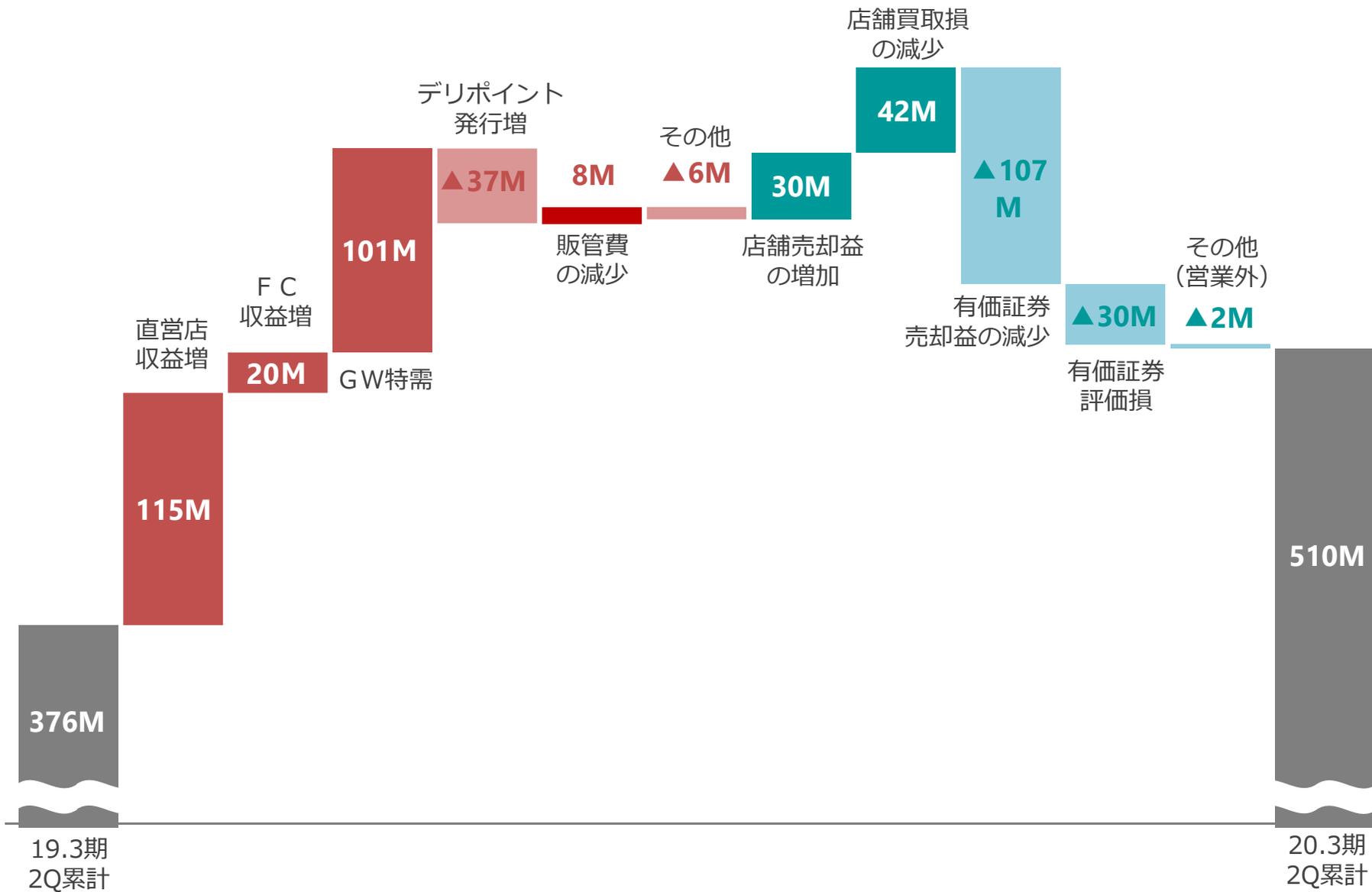
- 前年同四半期における有価証券売却益の計上、当四半期における保有有価証券の評価減により、経常利益は減益。

■ 売上高 ■ 経常利益
(百万円)



経常利益の前期比増減の構成 第2四半期累計

2019年特有の、GW期間の長期化と、元号変更による特需が大きく影響



店舗数・拠点数の増減

釜寅の出店促進等により、店舗数は3店舗増加

事業形態	ブランド	19.3期末 店舗数	出店	閉店	20.3期 2Q店舗数
宅配事業	銀のさら	359	－	△1	358
	釜寅	191	5	△1	195
	すし上等！	150	－	－	150
宅配代行業業	ファインダイン	44	－	－	44
合計		744	5	△2	747

	19.3期末 拠点数	拠点開設	拠点閉鎖	区分変更	20.3期 2Q拠点数
直営店	104	－	－	△4	100
FC店	265	－	△1	4	268
合計	369	－	△1	0	368

連結B/S 対前期末

借入金の返済等により総資産△142百万円。自己資本比率55.7%（前期末52.8%）

(単位：百万円)	19.3期末	20.3期2Q	前期比	ポイント
流動資産	6,457	6,161	△296	資産 △142百万円 ----- 【流動資産】 △296百万円 ・ 現金及び預金 △150百万円 ・ 売掛金 △126百万円 【固定資産】 +153百万円 ・ 有形固定資産 +148百万円 ・ 無形固定資産 +10百万円
(うち現預金)	3,492	3,342	△150	
有形固定資産	681	830	+148	
無形固定資産	368	379	+10	
投資その他資産	2,398	2,392	△6	
資産合計	9,906	9,763	△142	
流動負債	2,898	2,784	△113	負債 △347百万円 ----- 【流動負債】 △113百万円 【固定負債】 △234百万円 (借入金の約定返済によるもの)
(うち1年内有利子負債)	440	440	±0	
固定負債	1,775	1,541	△234	
(うち1年超有利子負債)	1,276	1,052	△223	
負債合計	4,673	4,325	△347	
株主資本	5,196	5,409	+213	純資産 +204百万円 ----- 【株主資本】 +213百万円 ・ 四半期純利益 +318百万円 ・ 配当金支払額 △105百万円
純資産合計	5,232	5,437	+204	
負債・純資産合計	9,906	9,763	△142	

20.3期 2Qトピックス

- 「銀のさら」「釜寅」のイトイン型店舗オープン
- デリバリーでしか召し上がることの出来なかった「銀のさら」「釜寅」を、よりたくさんのお客様に召し上がって頂きたいという思いから、お寿司や釜炊きの出汁ごはんを御膳形式でお楽しみいただける、新業態の和食レストランを2019年7月にオープンしました。



- 「銀のさら」「釜寅」「すし上等！」アプリにゲーム機能をリリース
- 当社アプリとお客様との接点を増やすため、当社デリポイントを獲得できるアプリ内のゲーム機能をリリースしました。



- 「銀のさら」SNSキャンペーン開始
- お客様の認知を拡大することを目的として、「『銀のさら』SNSキャンペーン フォトコン2019」を2019年7～9月の期間で開催いたしました。



通期業績予想の修正 – 連結

売上高210億円（増減率+0.9%）、経常利益15.6億円（増減率+34.2%）

- GW特需による第2四半期までの実績及び、WEB注文促進の各種施策の効果等による基幹事業の売上状況を鑑み、通期の業績予想を修正。
- 売上増加に伴う生産性の向上や、メニューの改定に伴う変動費の増減を見込む。

(単位：百万円)	20.3期 通期 業績予想(前回)	20.3期 通期 業績予想(修正)	増減額
	下段： 売上構成比%	売上構成比%	増減率%
売上高	20,820	21,006	+186
	-	-	+0.9%
営業利益	1,151	1,557	+405
	5.5%	7.4%	+35.2%
経常利益	1,162	1,560	+398
	5.6%	7.4%	+34.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	730	979	+249
	3.5%	4.7%	+34.1%
1株当たり当期純利益	69.52円	93.22円	-

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

ディスクレイマー



当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予測なしに変更する可能性があります。

また、本資料には、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測ならびにリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報、将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。